

## 「温もりを感じる保育室」



保育教諭 箱田 裕子

今回、私は「温もりを感じる保育室」というテーマをいただきました。

私がまず温もりを感じる保育室と聞いて頭の中に思い浮かべたことは、子どもたちや保育教諭の笑顔や笑い声で溢れる風景です。保育室の扉を開けた瞬間に子どもたちや保育教諭が楽しそうに遊びながら笑顔を見せていたら、「なんだか楽しそうだな」と自然と感じます。もしも反対に、扉を開けた瞬間に笑顔が無く静かな空間であったらどの様に感じるでしょうか。「どうしたのかな」と不思議さや不安を感じてしまうかもしれません。

朝、こども園に登園してきた子どもの気持ちに例えても同じではないのでしょうか。保護者と荷物支度を終えて保育室の中に入ろうとした時、保育教諭が明るく挨拶をしに側に来たり、友だちが楽しそうに遊んでいる笑顔が見える温かい雰囲気を感じられると、気持ち良く保育室の中に入って来ることができるのではないかと感じます。笑顔や笑い声で溢れる温かい雰囲気は子どもと保育教諭と一緒に遊びを楽しみ、楽しい思いを共有していく中で生まれてくるように思います。子どもだけが遊ぶことを楽しむのではなく保育教諭も一緒になって遊び、「楽しい」「面白い」とたくさん発見し共有していきながら、自然と笑顔や笑い声が溢れる環境を作ることができるよう心がけています。

子どもたちが遊んだり食事をし、眠る等様々な場面で過ごしている保育室。温もりを感じられることで安心感を味わい、情緒が安定して過ごせると感じます。保育教諭が慌ただしく動き回ったりイライラとした感情でいると、子どもたちはどう感じ、どんな気持ちになるでしょう。子どもたち自身も落ち着かず不安な気持ちになってしまうのではないのでしょうか。保育教諭が気持ちを落ち着かせゆったりと関わっていく中で、思いを伸び伸びと表出することができたり安心して過ごせることが大切だと感じます。その日その日によって涙が出たり不安そうな表情になる子どももいると思います。どの子どもたちも安心して遊びや友だちとの関わりを楽しみ、笑顔になったり楽しい雰囲気を感じられる温もりのある保育室にしていきたいです。

(2019年8月)

